



近所のおっさん (その4)

令和8年8月

堀田

(PC 編集 MR.荒木)

[ここに入力]

[ここに入力]

[ここに入力]

目次

(笑 151) 微妙な均衡.....	3
(笑 152) 庭先の枯葉にも.....	3
(笑 154) 梵鐘の響き.....	4
(笑 155) 新春のひかり.....	5
(笑 157) お〜い お酒	6
(笑 158) どっちもどっち.....	6
(笑 159) 何か 変だよ.....	7
(笑 160) 今日もまた.....	7
(笑 161) 写真との ひと時	8
(笑 162) 天馬が駆け巡る.....	8
(笑 163) ここは何処だろう.....	9
(笑 164) 何なんだ.....	9
(笑 165) あまりにも ぐうたらな.....	10
(笑 166) 馬車馬の行方.....	10
(笑 167) 今を生きる.....	11
(笑 168) 地獄への 先送り	11
(笑 169) やってみなはれ	12
(笑 170) だから楽しい.....	12
(笑 171) なんか寂しいな.....	13
(笑 172) 悪魔たちの暴走.....	13
(笑 173) 今日も過ぎゆく.....	14
(笑 174) どうなってるんだ.....	14
(笑 175) 今を考える.....	15
(笑 176) どこかの会話.....	15
(笑 177) そんなことあるさ	16
(笑 178) こりゃ あかん.....	16
(笑 179) 不穏な動き	17
(笑 180) 逢える喜び	17
(笑 181) 変わってる人	18
(笑 182) 今日も明日も.....	18
(笑 183) 夢を壊すもの	19
(笑 184) 元気よく 朗らかに.....	19
(笑 186) 妙案でしょ	20
(笑 188) 平和を求めて.....	21
(笑 189) 恩返しのために	22

(笑 191) 風邪のたより	23
(笑 192) 缶蹴り.....	23
(笑 193) 心に留めたい	24
(笑 194) ちょっと一息.....	24
(笑 195) 挑戦の力	25
(笑 196) モチベーション	25
(笑 197) 推し活の世界	26
(笑 198) 知識を拾う.....	26
(笑 199) 汗の向こうに.....	27
(笑 200) 掴む藁も無い.....	27

(笑 151) 微妙な均衡



グルグル廻って 何してるの

えっ

ワン太郎 思い出すから やめて

いや ちょっと なぜだろう

何がなの

地球はいつまで自転を続けるのかな

急に 変なこと考えるのね

変ではないだろう 不思議だぞ

そうねえ

ちょっと お天道様を見てるうちに 気になってね

そういえば 毎朝があるのは当然と思ってたけど

だろ そのうち夜が明けなくなるかもな

暗闇の世界か

太陽系が生まれた時に 偶然何かの拍子に回り始めた地球が無重力の宇宙で邪魔されことなく慣性で廻り続けてるんだらう

へえ

そして 地球は太陽の引力と自身の持つ慣性との微妙なバランスによって公転も続け この変化に富んだ季節を生み出しているのかな

宇宙ってなんだか 想像を絶する無限に広がる創造物だわ

ほら グルグル廻りたくなっただろ

(笑 152) 庭先の枯葉にも



あっ 太陽が

うん 柔らかな日差しだ

雨が少し降った後の光のカーテンね

空気中の水の粒を照らしてる

木の葉の隙間から漏れ出て誘ってるわ

穏やかな木洩れ日のひと時を

安らぎを覚える日々感謝したい

そうだよ

砲火の下 恐怖に慄き 彷徨う人々がいる

飢えに苦しむ子供達の姿が目につく

どうして無くならないの

どうしてかなあ

きっと太陽の恵みを知らない愚か者の所為だわ

地球上の全てに注いでいる優しい光を感じながら

そして 平和の道を歩まなければいけないのよ

一つの小さなちいさな想い

でも 結集すれば大きな力となるわ

傷つけ合うことをやめよう

今すぐに気づいて欲しい

憎しみからは何も生まれない

(笑 153) 今日も歩く



さあ 研究 研究
なんやねん
歩きかたの勉強
そんなのどうでも良いやろ
アホか 人間が人間たる所以や
難しいこと言うなあ
2 本足で立って歩くという偉大さや
そう言えばそうか
手が自由になり 頭を働かせるのだ
知恵づくりか
そんな格好じゃ駄目 もっと背筋を伸ばし 前方を望む
こうね
あんたはどうもいかな 足は交互に出さなきゃ
そうかて つい左足が右の先に出る
それじゃ ずいずいずっころばし胡麻味噌ずいだ
あ~あ 難し過ぎるて
何がや カニの横這いやないぞ
もう あかん 疲れた
ぼやいてる暇はない 人類やろ 考えろ
ええい 手足で四輪駆動や

(笑 154) 梵鐘の響き



時々 ふっと思うんだ
何をよ
わしは 何処へ向かってるのだろうか
向かってなんかいないわ
えっ
我が家の周りをふらついてるんでしょ
そうじゃ無くて 我が人生だよ
あらあ あなたの存在の意味かしら
宇宙が生まれて 138 億年だ
太陽系地球が 46 億年も前にできてるわ
そしてわしの祖先から 20 万年も経ってる
人類は何をしてきたのだろうか
この大自然の摂理の手のひらで イタチごっこか
争いに塗れ 今もその修復に明け暮れている
のよ
そう 空しさだけが過ぎていく
もう 時間が無い 一刻も猶予できないってこと
かしら
わしに 何が出来るか考えてすぐ実行だ
良いわね
飯のお代わりやめて一杯にするか
なによ そんなことしか無いの

(笑 155) 新春のひかり



おめでとう

おめでとうございます

ところで 何がめでたいんだろう

えっ 何がって

去年一年無病息災で 年神様を元気に迎えられたことかな

そっ そうでしょう

しかし 我々の周囲は はて 感謝 思い遣りに満ちてるかなあ

今日も 戦地で 恐怖に慄き 避難生活を余儀なくされている人達がいいますね

自分が そして身内が 安寧なら それで良いのだろうか

日々煉獄の苦しみの中で 生き絶え絶えの姿が目に見えます

窮地に陥った同胞のことを気遣い 痛みを感じ 救いの手を差し出すには 何をどう考える

難しいですね

しかも 直ちに

どうしたらいいですか

殺戮を止め そして共生を目指すことしかない

当事者には 馬耳東風なんです

宇宙からの 地球上に届く陽光に 今こそ目覚める時なんだ

すべての人々に等しく注がれていますね

その優しさに満ちた光の中で 我々は生かされていることを

互いに支え合うってことですね

(笑 156) 永遠の流れ



もう 時間が無い

時間はあるわよ

いつまであるんだ

宇宙が続く限りよ

宇宙は無くならないのか

収束して無になるまでね

無にも時間は有りそうだぞ

無の丑三つ時ね

草木の眠る頃だ

寄らば切るぞの世界だわ

そんな無の時間も終わる時が来るかなあ

来ないわよ

無という存在が有り続けるのか

だから無の時間になるのよ

なんだ暗黒かあ

あらっ 暗黒という明暗の概念も無いのよ

何だ それ

もう いいから

え～ 有は無で 無は有でって

うるさいわねえ

(笑 157) お〜い お酒



睦月 しかも午年 ようし飲むぞお
それ あなたに何か関係あるの
いや 思い当たらん 兎に角 飲むのだ
どんど焼きの焼酎が拍車かけるわよ
飲み放題の大吟醸もな
3月がもうそこまで来てるわ
えっ あの待ち遠しい3月が射程距離にか
そうよ 花見酒ね
早く 桜吹雪の中で踊りたい
嫌ねえ 年中混ぜこぜ 酒浸りの アカ
ンタ〜レだわ
なんだよ
正月が来たとこなのに
でも もう猶予はないぞ
忙しい人ね
あんなあ ポヤポヤしとると すぐ生ビール特
大で乾杯の猛暑や
あらまあ
紅葉の行楽に ブルゴーニュのワインが控え
で待っとる
暮れは何なの
年忘れの オールドパーだ
それで すべてがパーね

(笑 158) どっちもどっち



あんた 初春の抱負は
えっ 急になんや
唐突やないやろ 新年や
そやけど 考えとらん
アホか 何かあるやろ
え〜と そや 温泉に行きまくることかな
なんや つまらんことやな
つまらんてえ ほならお前は
わしか わしは高尚やぞ
えっ
シニア大学で探究
何の
スカタンと馬が合う根拠や
ふ〜ん 斬新な内容やないか
そうや おもろそうやろ
なんでそんな事必要か分からんけどな
分からんって
ああ
あんたと付き合っていく為や
あっ それ わしにも

(笑 159) 何か 変だよ



夢は 枯野を よたよたと
あれっ 寂し過ぎる
うん 庭を眺めてるとね
まだまだ これからよ
そうだね
傘寿ごときで弱音吐けないわ
睨み効かせて 世の動きを
最近 ちょっと危なっかしいから
何考えとるんだと言いたい
彼ら何も考えてないわ 自己中心なんだ
人類出現から 20 万年か
それにしてもは進歩してないわよ
陣取り興亡に明け暮れの世だ
ちょろいわ
情けないよ
46 億年の歴史あるこの大地を見よ
堆積した地層の断層 侵食 火山の怒りの連続にも耐えて
なお堂々と生き抜いてる
化石アンモナイトの熱い想い 恐竜ステゴサウルスの
悲痛な叫びが響く
しずまれ 控えおろう 愚かさよ

(笑 160) 今日もまた



コーヒーで朝が来るのよ
わしは日本茶の世界や
パンとチーズでどう
納豆に梅干しがいい
飢えに苦しむ人々に愛の手を
腹減ったわしに早く飯をくれ
何なの あなた
食前のお祈り
あのね 真面目にやってよね
この美しい姿が目に入らんの
テレビの見過ぎだわ
得るものは多々ある
くだらん番組に踊らないでね
頭の運動 心の洗浄だ
ああ言えば こう言う わけのわからん人だわ
気にするから角が立つんだ
丸く収められないわよ
何で
私 噛む馬 しまいまで噛むからね
助けてえ

(笑 161) 写真との ひと時



やられたあ
額縁から飛び出して
目前にせまりくる情景
光の中で遊ぶ鮮やかな色彩が
絶妙に醸し出した世界
巧みに忍耐で捉えたその刹那は
二度と再現できないのだ
羨望すら覚える洞察力と
豊かな感性に息を止める
いつか 現地を訪れようね
妻の眩きに共感した私は
鼓動を抑え切れないでいる
この出会いの喜びを
あなたにぜひ伝えたい
(上中里地区センター内の AC クラブ写真展
2026.1.15～30)

(笑 162) 天馬が駆け巡る



しかし まあ 不思議だねえ
何が
いや すべての現象が
また始まったわ
わしが今ここに存在することも
そうね
誰が そうしたのか
何が そうしたのかしら
そうだな 何故なのか
分からないわ
きっと 見えざる意志が働いてる
宇宙を創ったものが存在するのよ
宇宙の外にか
そうよ 宇宙の外の大宇宙よ
その大宇宙を創っている超宇宙を手のひらのなかで
楽しんでいるのは誰なのか 何なのか
確かに謎ね
もう駄目だ 先に進めない
では 引き返して
戻れないよ 迷路に落ちた
漂ってなさい

(笑 163) ここは何処だろう



世の中にはついて行けんよ
まだついて行くつもりか
えっ
もがいても無理だよ
そうかなあ
じゃあ スマホ出来るか
持たされてるよ 居所の確認らしい
何だそれ
何処に彷徨ったか探せるようにだと
それは必要かも
テレビゲームは蚊帳の外
何でや
画面が走るのをボンヤリ見てるだけの
つまらんな
なんか AIを駆使したキャラの動画や会話ちゅうのが
溢れとるね
10 次元の世界
なんだ
宇宙時代や 泳いでいかにやあ
置いて行かないで
スマホ オンにしとけ 見つけたるから

(笑 164) 何なんだ



あの人どうしてるかな
あの人って
だから あの人よ
えっ どの人
ほら 例の人
ああ 例のね
分かってるの
だから ほら よく会う
だっ 誰よ
あのう きのうも見た
何処で
何処だったかなあ
何よ 変なの
そうかあ 違ったか
違うわよ
なら 誰だよ
だから あの人なの
さっぱり分からん
そうでしょ そんな人は居ないのよ
あのなあ

(笑 165) あまりにも ぐうたらな



さあ めし食うか
どうぞ
どうぞ って
その辺探して
何もないけど
変ねえ
あつ 缶詰の空き缶
それぞれ
なにも入ってないぞ
それでいいのよ
えっ
早く行ってらっしゃい
どっ どこに
ご近所よ
何しに
持って立ってたら 何かくれるわよ
アホか 托鉢やないぞ
じゃあ どうすんのよ
あんなあ わし めしを食うんだ
だから さっさと行ったら

(笑 166) 馬車馬の行方



それゆけドンドンかあ
えっ
とうとう走り出したぞ
何が
すぐ加速
短距離リレーなの
世の中の動きだよ
ああ ご政道ね
何処へ行ったの この一票
他の国を笑えないわ
我武者羅だぞ
怖いわね
独断の猪突なのだ
沿道で旗振ってるわよ
何も分からんでね
見えないものに
愚蒙の群集か
我に帰ったら地獄
それでは遅いよ
手綱も切れちゃってる

(笑 167) 今を生きる



このところ なんか 力が出んわ
どうしたの
いや 歳かな
わしと変わらんやないか
うん 団塊直前の世代
しっかりせな
あんたは 元気やな
毎日が新しい挑戦やからな
何やತ್ತるの
何もやತ್ತらんよ しかし この新たな1日を大切にしとる
新たな か
この瞬間は 後にも先にもこの時だけ わしにとっての
未知の宝
そうか そうやな
生涯はこの刹那の連続や
同じ描くなら 美しく 感謝と喜びに満ちた自由な放物線か
それぞれ うまいこと言うなあ 誰に見せるためでもない
己の旅や
ちからが湧いてきたぞ
あんた一人で生きてきた訳やない 支え合っこのこの人
生 有り難さを自分の歯でしっかり噛み締めるのよ
あっ わし 入れ歯
勝手にせい

(笑 168) 地獄への 先送り



早く処理してよ
えっ何を
あら もう忘れたの
何か言ったかな
しらばくれて
思い出せない
いつもそうやって逃げるのよね
記憶にないんだ
あらら 何をやったのかも覚えてないの
記録にもないぞ
また抹消したのね
わしは知らん
周りが忤度したのだわ
ところで問題は何だ
何冗談言ってるの
全く理解してないのだ
そうやって惚けるのね
そんなことより
そう言ってすぐ逸らす
蓋してりやあ すぐ風化するさ

(笑 169) やってみなはれ



ご近所で良かった
何がよ
習い事
そうなの
先生の手法が凄いの
へ～え
気軽に相談できる優しい人
町内も捨てたもんじゃ無いね
そうよね
わしも習えるかな
やってみる
え～と 用意するものは
ほんとにやる気なの
ああ
でも 私のグループは女性ばかりよ
野郎は駄目かな
大丈夫だとは思うけど
何をやってるの
洋裁
あっ そりゃあかん 運針も碌に出来んわ

(笑 170) だから楽しい



お前 見たか
見た みた
何をや
わしは 見たぞ
だから 何見たんや
わしがかあ
そうや
そんなこと 言えるかあ
なんでや
恥ずかしいわい
アホか 言うてみてみ
思い切ってか
そうや お前がや
女の人や
そらそうや
ええっ
アダムでなければイヴだ
良かった
何がや
男だけの世でなくて

(笑 171) なんか寂しいな



もう如月から弥生に
　　そうやな
アホなこと言うとなったら日が暮れる
　　お前はな
ほなら お前違うんか
　　わしはアホなこと言わんわな
またまた
　　なんやねん
自分だけええ子になって
　　そんなことあるかえ
そうかあ
　　みんな頭使って生きとるぞ
頭なら わしも使っとるよ
　　きゃはは お前が
その辺歩くのに頭ぶらぶらしとる
　　それは首振り人形やでえ
違うんか
　　脳味噌を使えよ
味噌はもう無い
　　買いに行け

(笑 172) 悪魔たちの暴走



知らなかったでは済まぬ
　　そうよね
遠いかなたの出来事ではない
　　こんな小さな世界なのに
あなたにも愛する仲間がいる
　　かけがえのないものもある
大切なたいせつなこの瞬間
　　横暴な振る舞いは許されない
誰であろうと
　　どうすれば良いの
止めなければ
　　私たち一人ひとりが叫ぶの
繰り返し くりかえして
　　怒りの集団になるわ
46 億年の歩みを止めないようにね
　　心なき悪ガキのゲームを沈黙してはいけない
今こそ 動く時
　　老耄とは言え
たとえ 微力でも
　　この気迫に満ちた眼をみよ

(笑 173) 今日も過ぎゆく



この暖かい日差しを浴びて なにか思う事ないの
思う事ねえ
そんなに考えることかしら
ちょっと待って
待つも待たないもないわ
え〜と
情緒に乏しいのね
情緒ねえ
心の内から湧き出るもの
ため息か
ああ もう駄目
何があ
言っても無駄だわ
たはは
優しい春の光 仄かな草花の匂い
そうかあ
時の移り変わり 自然の美しい流れよ
そう言われれば
無理しなくていいわ
また 寂寥感か

(笑 174) どうなってるんだ



ああ なんかラーメンが食いたい
そんなもの
そんなものだから食いたい
今 夜中よ
夜中でも 何でも良い
子供みたいねえ
子供でも大人でも関係ねえ
じゃあ どっか屋台にでも行ってきたら
こんな夜中に
夜中でも昼でも関係ないわ
子供みたいだな
子供で良いのよ
どっかで聞いたセリフだぞ
前にも言ったかしら
変だな どうなってるのだ
どうでも良い 食べたいわ
こんな夜更けに
どこか やってるわよ
じゃあ 行くか
あら あなたも

(笑 175) 今を考える



一寸先は闇ねえ
光でもある
そうなの
転んだら起きれば良いのだ タダでは起きんぞ
どうするの
そのへんを転げ回れば何かあるわな 銭が落ちて
るかも
変なおっさんやなあ
誰がや
打ちどころが悪ければどうなるの
そんなこと知るかえ
塞翁が馬か
そうだ 一喜一憂せず
先を目指すのね
道は開ける
カーネギーみたい
こじ開けるのだ
苦難への道かあ
これまでも歩いてきた道だ
しかし 愚かな争いの泥沼だけは御免だわ
底無しの奈落は宇宙ではなく 当事者の心に潜む

(笑 176) どこかの会話



変な やっちゃな
どこが
笑えんけどな
あんたのこと
わしちゃうがな
誰よ
だれでも良いやろ
だって気になるわよ
気にすな
余計気になるわ
あんなあ
はあ
気にする暇あるんなら わしのこと もっと気にしてくれ
それは無理やわ
なんでや
ハタチの乙女やあるまいし
わしはまだ青春時代の延長や
もう傘寿がマツタケになってるわ
くそっ
風もないのに

(笑 177) そんなことあるさ



あのう
うん
え〜と
なに
なんだったけ
何よ
もういいよ
どうして
ちょっとな
変ねえ
忘れちゃった
えっ
ああ そうだ
あっ 思い出したのね
いや 今何をするんだっけ
だから 言うことあるんでしょ
誰が
あなたよ
えっ わしが
もう いいわ

(笑 178) こりゃ あかん



皆んな 一斉に見てるよ
どこをよ
スマホ
ああ 電車の中でしょ
それ以外の人には寝てる
そうね
それでも 若い人がいるとなんかホッとする
閉塞感漂う老人だけの車内に陽がさすのよ
年寄りにはボ〜としてる
あんたは
わしか わしはキョロキョロまわりを見回してるんだ
やっぱりね
何だよ
生産的でないのよ
えっ
若い世代は 指を動かし脳を使ってるか 休
めている
わしは
あんたは何も考えず目の前の推移を眺めて
るだけね
降りる駅を思い出そうと必死なんだぞ
あらら 偉いわね

(笑 179) 不穏な動き



あんた 鼻歌うたってる場合じゃないわよ
えっ どうしたの
世の中 大変よ
何がよ
あちこち 紛争が勃発 拡大してるの
そうなの
そうなのって 呑気ね
じゃあ どうしたら良いんだ
分からないけど
拡声器で怒鳴ってもしようがないだろ
そうね 近所迷惑になるわ
反対の声をどこにぶっつけたら良いんだ
市井の人々の怒りね
いま流行りの SNS とかの手段か
世論の大勢になるかしら
誰が取り上げて力にするんだろう
議員への呼びかけはどう
選挙の熱が冷めた今 蚊蜻蛉のひと蹴りにもな
らんぞ
困ったわ 結局は私達一般国民が矢面に立つのよ
また 竹槍かあ

(笑 180) 逢える喜び



やっぱり桜は良いね
美しいわ
日本人だねえ
そうかしら
えっ
まあ 端くれね
歴とした日本男児だ
あらまあ
春の訪れを爽やかな風と共に
次から次へと見事ね
あっ こんなところにも
そうそう 花びらを見て気付くのよ
世界で 600 種にも及ぶらしい
そんなに
ソメイヨシノ ヤマザクラ カワヅザクラ ヤエザクラ
シダレザクラ ぐらいしか知らんけど
そうね
それに オオヤマザクラ オオシマザクラ
へ～え
あと カスミザクラ とか チョウジザクラ え～とそ
れから
もう いいから 桜餅でも買ってきてよ

(笑 181) 変わってる人



あつ 今 行きます
誰か 来られたの
いいや
でも 返事したじゃない
応えなきゃあ
何なの
風呂が沸いたんだって
変なの
でも 敵も一生懸命なんだよ 務めを果たそうと
道理で このところ なにかブツブツ喋ってると思っ
たわ
大事なことだぞ
機械に返事ね
あなた よくタイマーかけて 鼻提灯で寝てるだろう
嫌あねえ
その間もやつは懸命に時を刻み ご要望の時刻にお知らせし
ようと頑張ってるのだ
そんなあ
だから ベルが鳴ったら 感謝の対応をしなきゃあ
あのねえ ちょっと暫く 2 階に行っててよ
いいけど もうすぐ やかんがピーピー鳴るんだ
そんなこと 気にしないで

(笑 182) 今日も明日も



気配りって大事な
そうね
心遣いとか思い遣り
何かあったの
いや 常日頃感じること
私達の身边でもあるわ
例えば横断歩道でもね
どんな時
当然の権利のように歩いている
青だからよ
でも 公道だから行き交う人々 止まってる車にも留意しな
きゃあ
それはそう
スマホの世界から ちょっと目を外して
危ないよね
左折車が待ってることも認めて 軽く会釈か手を上げたい
よ
せめて 気持ちだけでも持ちたいわ
どこに居ても 散歩道ですれ違っても優しくありたい
お互いに支え合つての世界ね
この限りある日々を
ほのぼのと歩みたい

(笑 183) 夢を壊すもの



あつ 沈みゆく地球だ
えっ 夕陽じゃないの
地球が消えて行くよ
そんなあ
月の地平線彼方にね
変なの
見事だよ オリオンから
ああ 有人宇宙船ね
地球から月の裏側へ しかも 40 万 6771 キロの地点
からの撮影なんだ
想像を絶するわ
月の裏もなんだか未知の世界
何か潜んでるかも
人類の探究心と叡智は留まるところを知らず
素晴らしいわ
やがて宇宙の星巡りが庶民の余暇の過ごし方に加わ
るだろうな
銀河の渡し舟ね
夢に浸ってる場合ではないけど
どうしてよ
情け無い 忌まわしい争いに 明け暮れてる愚かな
人類でもある
あの人達と一緒にしないで

(笑 184) 元気よく 朗らかに



あの丘を越えて行こうよ
えっ どこに
足取りも軽く
わし 引き摺ってるけど
何言ってるの 歌ってよ 続き
え〜と
駄目ねえ
思い出さん
きのう 落ちた溝に忘れてきたのね
夜道は危ないね
真澄の空は 朗らかに晴れて でしょ
あつ そうか
青春の歌 あんたには無理かな
青春かあ
あつたの
なんとなく
頼りないわね
今こそ その時かも
じゃあ 明るく手を振って
難しいこと させるな

(笑 185) 日はまた巡る



昨夜 何食べたっけ
突然訊かれても無理だぞ
思い出せないわ
え〜と 何だったかな
おとといは 焼き魚
その前は 確か餃子
変ねえ 何か食べたわよ
そりゃ そうだろ
食べる前に何したかを考えるわ
あんた 2階でゴソゴソしてたよ
探し物よ 布地
そんで あったの
ない どこにいったのか
重症だな
誰が
あのう 僕がです
思い出したわ 昨晚のおかず
ようし 偉いぞ
一昨日の残り物だった
ダブってたのか どうりで思い出せないはずだ

(笑 186) 妙案でしょ



出かけるの
ああ
あつ ついでに買ってきてよ
いいよ 紙に書いてくれる
一つだけだから
覚えられないよ
頼りないわねえ
わし 何処に行くにもメモしてるんだ
ええっ なんなの
途中で見失うんだ
何をよ
外出の目的
怖いわね はい これ買って欲しい物
え〜と 何だって ゴキブリころりんか
もう買い忘れて2ヶ月も経つわ
要らないんじゃないか
ダメダメ その間にも相手は増えてるのよ
おい 何してるんだ
ポッケだと忘れるでしょうから 貼っておくわ
わしの でこ にか

(笑 187) 困った困った



どうなるのかな
何がよ
知らんのか 皇室典範改正
えっ
あの期待の人
わああ 待ち遠しいなあ
ぼやっとすな
何で
現政権で その道は閉ざされるかもな
そっ そんな
男系男子存続前提の議論やで
何なの
女系とか女性を念頭にしとらんのよ
昭和になって側室制度を廃止したのに なんで男
尊女卑の世界だけ存続なの
そう思うやろ 男女平等のこの時代に
明治政府 1889 年制定の皇室典範を固執しとるの
ね
それに訳わからず賛同しとる議員が大勢を占めとるんや
決議されたら後戻りはできないわ
どうしよう
大海の笹舟だけど

(笑 188) 平和を求めて



あ〜あ わからないわ
えっ
どうしたら良いのかしら
何を
何だかじっとして居れないのよ
困ったことなの
重大なことよ
はて さて
呑気ねえ
そうかな
新聞読んでないの テレビをつけたら朝から晩までよ
あっ 戦争ごっこか
そうよ 虚しい争い
ミサイルが飛び交い 殺戮と破壊の地獄変だぞ
今この瞬間にも 尊い生命が失われているの
そうだね 何も知らない子供達までも
人が人を傷つけてるのよ
絶対に許せないね
他人事ではないわ この大切な地球での愚かな人達
銀河鉄道で最果ての星に向かわせたいよ

(笑 189) 恩返しのために



あんた 炊事やってるの
あぁ 朝昼晩ね
頑張っとるな
もう 15 年近くなるかなあ
奥さんの分とやろ
そうなんや 毎日の献立から料理皿洗いまで
どうなっとんの
思い切って始めたんや
ふ～ん
感謝の気持からね 家事育児の任せっぱなし
で 迷惑かけたからな
感心やな
お陰で今の所 呆ける暇がないわ 料理は結構 頭使うから
そうなんかあ
段取りが肝心や 美味しいものを熱いうちに食べてもらわな
わしの分も何とかならんか
餌をか
餌って あのを その美味しいごはん
お前には感謝の気持ち湧いてこんわ
わしの連れと同じ事言いよる
霞でも喰ってな

(笑 190) この世界で



朝 目覚めたらホッとする
あらら
今日も生きてるぞって
そうね
このまま眠り続けても 本人は気がつかないけど
周りが大変よ
そう思うと有難いね
元気なことに感謝よ
刹那を大切にしたい
つまらない事に腹を立てずにね
笑いの中に楽しみを求めて
そうありたいわ
そうでなければ
どうしてかしら
何が
揉め事が絶えない
お互いを認め合わないからだよ
どうしようもない人でも
誰が
目の前にいるわよ

(笑 191) 風邪のたより



あんた 調子どうなの
何の
時々 脇腹が疼くとか
ああ 体か
医者は何て言うてるの
さあね 病院に行っとらんから
なんや 早よ診てもらえ
ええねん 昔からや
そやけど 場所が場所や
風邪のひきかけに起こるねん
そんなとこに悪さするかな
脇腹の骨が ズキンズキンな
けったいやな
それと 耳殻が疼くんや
そうなんか
持病や 一生付き合って行かな
自己診断はあかんで
まあ 一つ二つ気になるもの無いと張り合いが
無いから
アホな事言うるととくたばるぞ
くたばり続けとるわな

(笑 192) 缶蹴り



子供の頃に戻りたい
あらら
あの純粹さに
あなたにもあったんだ
何の蟠りもなく 解け合ってたなあ
そう
皆んなが仲間だった
自然だったね
勿論 言い合いも 仲違いも
でも すぐに打ち解けたわ
朝から晩までよく遊んだ
たわいもない事に夢中になって
きっと平和だったんだね
決してゆとりがあったとは言えない
心に豊かさが溢れてたよ
優しい気持ち
そんな世界が良いね
誰とでも仲良く暮らせる
もう 歳とって 弱ったけど
その空き缶 蹴ってみてよ

(笑 193) 心に留めたい



私 ハッとしたわ
えっ
そして思ったの 私達はなんて恵まれてるのか
どうしたの
朝刊 読んだ
未だだよ
投稿欄 ひととき
あっ これか
希少難病の娘さんが明るさを失わず家族と生きる
まだ治療法の見つからない皮膚弛緩症の病氣
同じ病に苦しむ仲間との出会いを求めてなの
周囲の目は辛く孤独感を深めながらも 勇気を出して海外の交流会に参加したんだね
ベルギーの病院で仲間励まされたみたい
人生を笑顔で最大限に生きている姿に感動し
力づけられたんだ
娘が参加できた感謝の思いを綴る母親
世界には生まれつき大変なハンディーを背負い
それでも前向きに一生懸命歩んでいる人達がいる
私達は無頓着すぎないかしら
環境に甘えてるのかも
ちょっと立ち止まって思いを馳せたい
周囲の仲間たちの事を

(笑 194) ちょっと一息



あっ 濡れ縁が欲しいな
何なの急に
そう思っただけ
変ねえ
いや もう西瓜の季節なんだ
そうね 暑くなってきたわ
頬張ったタネを思い切り飛ばしたい
ああ それでか
昔は縁側でよく食べたよ
家族で並んで屈託なくね
自然で素朴な風が吹いてたね
時間がゆったり流れてたみたい
今でも変わらないけど
そうかしら
気持ちの持ち方次第だよ
そうありたいわね
忙しい時こそゆとりを持って
我が身に言えることだわ
こんなにも容赦無く酷使してきた体だもの
ふにゃけの言い訳みたいよ

(笑 195) 挑戦の力



良い例はどこにでも
何のこと
チャレンジの重要性だよ
目標をきめてそれに邁進するってことかしら
昨日はテレビで病気の克服をやったよ
そうなの
脳出血で右半身麻痺の人が如何にしてリハビリを続けてきたか
忍耐力かな
そうだね 確固たる目標を持ち ひたすら努力すること
どんな目標
左手を使い文章を書き専門書を出すこと
凄いのね
そして車椅子で講義を復活したんだ
どこかの先生なの
大学の教授
チャレンジ精神が難病を圧倒してるのね
何かをやりたいという強い意志が処方箋になってる
頼もしいわ
皆の励みになるよ
何事にも不屈の精神ね

(笑 196) モチベーション



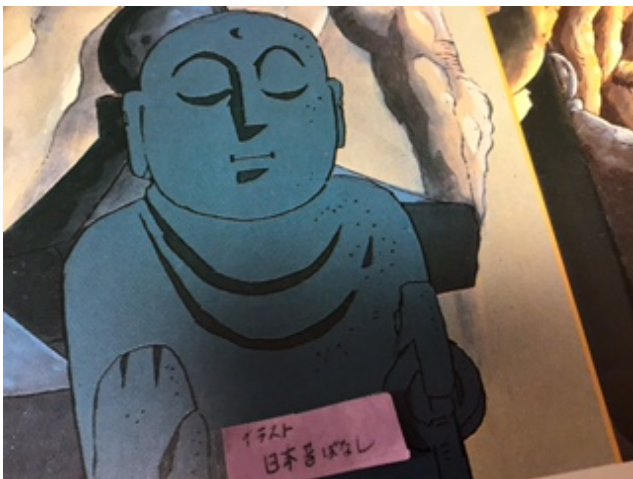
何してんのよ
えっ ボールのリフティング
どうしたの 急に
ワールドカップよ
昨日までバットに振り回されてたじゃない
ショウヘイちゃんに倣ってね
気が多いのね
バカ言え 時流と共にだ
左右されやすい人ねえ
熱血漢なのだ
なんだか 子供みたい
年寄りを侮るな
いいえ 頼もしいわ
明日はトライアスロンでギネス入りを狙うぞ
あのう
何だよ
腰痛はどうなったの 峰の里のお灸 予約取り消すのね
あっ 忘れてた
それから 帯状疱疹の予防注射どうする
あんた 人をへこませるの 上手いね

(笑 197) 押し活の世界



うわあ やるなあ
どうしたの
この人ね 大のロックファンで 野外会場の最前列に陣
取って痺れまくるらしい
あらら いいじゃん
ひとりでだぞ
周囲がみな仲間みたいなものよ
へえ そんなものか
夢中になれるものがあるって 素晴らしい
あんなあ 84 歳のバアさんがだぜ
バアさんだなんて 何よ あんたもジイさん
そうか そうだった
何歳になっても 夢を持ちたいわ
まあな
元気にやりたいことがやれるんじゃないの
あっ そうか
家でゴロゴロ迷惑かけてないしね
耳が痛くなってきた
何か没頭できるものないの
え〜と
あのね 考える事じゃないの

(笑 198) 知識を拾う



あら また 社会科の勉強しなきゃ
何だよ いまさら
でもね 知らない国よ
えっ 何処
アフリカ
そうかあ
サッカーのワールドカップで活躍してる カーボベルデなん
て知ってた
いや 初めてかも
大小 15 の島々からなる滋賀県ほどの面積で 人口 50 万
の農漁業の国らしい
へ〜え 大舞台に出たんだ
とにかく アフリカだけで 54 ケ国 世界の 3 割弱の国があ
るのよ
ひゃあ 考えてみたら確かに驚きだ その半分の国
も知らんわ
そうでしょ それぞれ固有の歴史と文化を守って生活して
るのね
わし どうしたら良いんだろう
どうもこうも無いわよ
そんな
この地球上の現実と真摯に向き合い 我が身を正すのね
わしは 祈ります
何をよ
世界の平和を

(笑 199) 汗の向こうに



やっぱり スポーツは良いね
えっ なんの競技
テレビ観戦だけど
ふ～ん
ワールドサッカーよ
そうなの
世界を変える力があるわよ
希望を生み出す力もか
野球やテニス ラグビー どんなスポーツにも言えるけど
共通のルールの下に鎬を削る息詰まる緊張感はいいいね
時には個々の選手たちの背負う生き様も見えるわ
戦禍に苦しむ生活環境や貧困に喘ぐ姿もね
世界の舞台で 地球の平和を訴えることもある
技の拮抗に固唾をのみ 選手の息遣いまで聞こえてくるよ
ドキュメンタリー世界の自然と文化遺産の放映も感銘を受けるけど スポーツにも心の機微に触れる力がある
情熱を傾けるだけの魅力があるね
この素晴らしいひとときと そこで育まれる博愛の精神を大切にしたいわ
大宇宙の不思議に包まれた
私たち皆の
掛け替えのない地球で

(笑 200) 掴む藁も無い



わし 大丈夫かな
さあね
何だ 冷たいね
だって 不安なんでしょ
まあな
私には分からないわ
そんなもんか
そうよ
きっと わし大丈夫だ
そうかしら
あ～あ
だって 言いようが無いわ
そんな
あなたの事だもの
そうだな
わたしには無理よ
無理を承知で答えてくれ
どうしても
ズバリと
土壇場の足掻きよ